

# みの EDO

東京⇄笠原情報誌 MAIL版

特集

## 第40回 ジャパンホームショー開催！

2018年11月20日(火)～22日(木)、東京ビッグサイト(東京都江東区)において住宅・建築関連専門展示会「Japan Home & Building Show 2018」が開催された。「第40回ジャパンホームショー」のほか、「第2回団地・マンションリノベーション総合展」などを開催。また「店舗・商業空間デザイン展2018」を同時開催。

全国タイル工業組合の出展ブース「CERAMIC TILE PLAZA(セラミックタイルプラザ)」を中心に紹介する。



噴水の水部分はLEDのフラッシュにより、水玉が弧を描いているように見える。思わず近寄って見つめる人も。



各社の新作  
タイルを展示！

Q-CATマスコット  
キャラクター  
Q太くん。

### 外国人客も多数来場

「CERAMIC TILE PLAZA」の展示コンセプトは「広場がつなぐタイルの街並み」。全国タイル工業組合員各社の新作タイルのパネルにより街並みを表現。企画展示として、憩いの場となる噴水とベンチを制作した。

また、Q-CAT認定タイルや認定接着剤等の展示、ブース内イベントとして、女性職人による接着剤張りの施工実演を1日3回実施した。

建築・デザイン関係者のほか、今年は外国人の来場者が多く、「輸出は可能か」などの質問もされた。

\*Q-CAT：外装タイルと有機系接着剤の  
組合せ品質認定制度



接着剤張りの  
施工実演では、  
質問も多く寄  
せられた。



Q太くんも  
ベンチで一休み。

# 「CERAMIC TILE PLAZA」

## 各社パネルの紹介

全国タイル工業組合の出展ブース  
「CERAMIC TILE PLAZA」では、  
組合員各社の25社40枚の  
タイルパネルを展示した。



エキシズ  
「テゴネタイル」



オザワモザイクワークス  
「OLD CLUB GREY'S」



各務製陶  
「ライナー/トライ」



カネキ製陶所  
「古窯変 波紋/70丸」



加納  
「SURF(サーフ)」



三協製陶  
「ラスティカモザイク 雅」



杉浦製陶  
「リアド・ベント・ベントプラス」



鈴製陶  
「サンダーロック(プロトタイプ)」



セラメッセ  
「Kikkou」



玉川窯業  
「カルセラ」



長江陶業  
「ハンプ」



名古屋モザイク工業  
「特注品・セリエビアンカ  
・ニンフェア・麻の葉」



ニッタイ工業  
「ブリザード・ブリザードフラット17 MIX貼り  
/グラデミックス」



日東製陶所  
「ソシラス」



ニットー

「ドルフィン/セメントMIX貼り」



久松製陶

「フラスタ」



丸万商会

「デコ・シリーズ(未定)」



山周セラミック

「One Tone Art 10mm角/  
ミニオン(10mm丸)/花子10mm角花」



山延製陶所

「トピカピ」



KYタイル

「フォンセーヴ 200角/  
マット 200角 市松貼り」



LIXIL

「ヘキサゴン」



TNコーポレーション

「キール」



アイカ工業

「ストロンガードタイル工法」

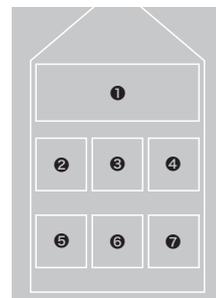


美濃焼CTタイル振興会

美濃焼クールアイランドタイル振興会



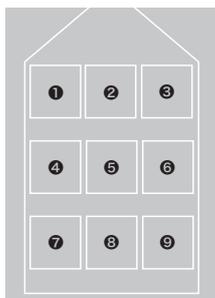
モザイク工房



- ①丸仙化学工業所
- ②玉川窯業
- ③オザワモザイクワークス
- ④山延製陶所
- ⑤各務製陶
- ⑥玉川窯業
- ⑦山周セラミック



モザイク工房



- ①玉川窯業
- ②オザワモザイクワークス
- ③各務製陶
- ④山周セラミック
- ⑤オザワモザイクワークス
- ⑥各務製陶
- ⑦山延製陶所
- ⑧山周セラミック
- ⑨オザワモザイクワークス

### 来場者に 人気だったタイル

来場者に実施したアンケートでは、テゴネタイル(エクシズ)が「丸みがナチュラルで面白い」などの理由で一番人気。ほか、唐長タイル(エクシズ)、Kikkou(セラメッセ)などが上位に挙げられた。



唐長タイル(エクシズ)。

# 講演会、タイル関連および注目した展示

## 藤森照信氏の講演会

会期中は、様々な講演会やセミナーが開催された。22日には、多治見市モザイクタイルミュージアムの設計者でもある建築史家・藤森照信氏が「自然を生かした建築の作り方」をテーマに講演した。「自然と建築の間には、つながりをつけたほうがいい、というのが私の考えです」と藤森氏。

設計の際は「現代建築で自然素材の不均質さをどう使うか」をテーマに、様々な素材の新しい使用法や加工法を試してきたことについて語った。もう一つのテーマとして、「自然を建築に取り込む」を挙げ、屋根にニラを植えた「ニラハウス」や、建物の上部に松を植えた「多治見市モザイクタイルミュージアム」などを紹介した。

## タイル関連の展示

「CERAMIC TILE PLAZA」のほかにもタイルを扱う企業のブースが何カ所も見られた。

企画展示「素材と空間の可能性」では、内装材マテリアルに注目し、新たな空間の作り方の可能性を提案。タイル関係では「TNコーポレーション」「モザイクジャパン」の2社が出展。

新たな製品としては、LIXILとニチレイマグネットが共同で開発した、磁石のつく壁に取り付けられる壁材「マグカラット」や、大判タイルなどの施工時に段差をなくし平滑に仕上げる不陸調整システム(藤栄)などの出展があった。

毎年、タイルを扱う中国企業が出展しているが、今年は大判タイルを扱う企業だけでなく、モザイクタイルを扱う企業が目立った。

## タイル以外で目をひいたもの

タイル以外の内外装材としては、「METAL BOX」(プロテクト)が目をひいた。建築板金業を営む企業が開発した製品で、素材はステンレス。立体感があり、金属の硬質な素材感が面白い。

もこもことした質感に興味をわき、思わず近寄って見てしまうのは「スカンディアモス」(and only)。スカンジナビアの森で育った苔を利用しており、20種類もの色を揃える。



藤森照信氏の講演会の様子。



TNコーポレーション



モザイクジャパン



淡路瓦工業組合



中国企業のモザイクタイル



「スカンディアモス」(and only)



「METAL BOX」(プロテクト)

# タイルの祭典・CERASTA2018開催

11月1日(木)～4日(日)、第3回となる「タイルの祭典・CERASTA(セラスタ)」が開催された。主催はタイルびとの会。タイル会社の東京にあるショールームを日替わりで会場とし、ワークショップなどの催しが行なわれた。



タイルメーカー、商社、問屋、タイル職人を中心とした有志の集まり。

## 11月1日 平田タイル・東京ショールーム

### ゲストトークショー 『DILCUE開発秘話とタイルの未来について』

登壇者は、タイル製作と施工を手がける白石普さん、タイル張りの浴室施工を行なう矢沢保政さん、タイルメーカーの平田幹人さん。冒頭に「業界としてはタイルの付加価値を上げていきたい。今日はタイルのよさを共有したいです」と平田さんが挨拶。「タイルでは自分の好きな空間にできますが、ユニットバスではできない。タイルを選ぶ時点でほとんど(依頼は)奥さんがメインです」と矢沢さん。日本のタイル文化を率いるのはやはり女性のよう。

顧客とのやりとりを大事にするのは二人の共通点。白石さんは、メンテナンスのため施工2年後、5年後に再訪すると話す。「現場で紙張りをはがすとき、きれいにタイルがおさまったときは嬉しいですね」。タイルメーカー側も現場を知ってほしいと話した。

現在多く出回る石目や木調の大判タイルについて、「焼き物のタイルは本物だけれど、石目調はフェイクと感じます」と白石さんが言えば「アイデアが行き着き、どれも似たような商品になっている」と平田さん。「その結果、古いものがかえて新しいという感覚も出ていますね。昔のタバコ屋のタイルも若い人には新鮮。在来工法のお風呂が新しいという時代が来るかもしれない」と矢沢さんが続けた。

最後に平田タイルが白石さんと製作したタイル「DILCUE(ディルクューエ)」を紹介。「クライアント、設計者、タイル職人に楽しんでもらえ、値ごろ感のあるタイルを作っていきたいです」と平田さんがまとめた。



左より平田幹人さん(平田タイル常務取締役)、白石普さん(Euclid代表、タイル職人)、矢沢保政さん(ヤザワ代表取締役)



「DILCUE」はモロッコタイルにヒントを得て製作。2つの形状×3色を組み合わせることで多様なデザインを表現。



同会場では、セラスタ参加企業が制作したタイル枕を展示。実際にベッドに横になり使い心地を体験できる。



名古屋モザイク工業



左:カネキ製陶所、右:オザワモザイクワークス

## 11月2日 リビエラ・東京ショールーム

### ライブ タイルドラムパフォーマンス「TILELIVE」

毎年恒例となったKOUTAROによるタイルドラムパフォーマンス。KOUTAROは、第一回セラスタのライブを機に、H ZETTRIOのH ZETT KOUさん、MONSTER大陸の千賀太郎さんにより結成されたユニット。今回、白石普さん制作のタイルドラムがリニューアル。「ナブラみたいな音がしますね」とKOUさん。タイルドラムの軽快なリズムに、千賀さんのハーモニカの情緒的な音色が心地よくなり、タイルファンから音楽ファンまでの心を満たすひとときとなった。



ドラマーのKOUさん。



ハーモニカ奏者の千賀さん。



今回リニューアルしたタイルドラム。



11月3日 「SWAN TILE」日東製陶所・東京ショールーム

ワークショップ

### タイルでブラックボードをデコレーション

色や形が様々なモザイクタイルの組み合わせを考えながら、ブラックボードにボンドで貼り付けて制作。



日東製陶所・東京ショールームでのワークショップの様子。

11月4日 名古屋モザイク工業・東京ショールーム

ワークショップ

### アルファベットのモザイクプレートとモザイクタイルミラー

天然の大理石やヴェネツィア産のガラス素材を自由に選んで、アルファベットのモザイクプレートとモザイクタイルミラーを制作。講師は、荒木智子さん。



名古屋モザイク工業・東京ショールームでのワークショップの様子。無料のモザイクタイルバイキングも開催。

トピックス

## 商空間向けの建材展示会 BAMBOO EXPO開催

11月14日(水)～16日(金)、商空間向けの建材の展示会・BAMBOO EXPOが開催された。

会場は、東京・海岸の複合施設「TABLOID」(東京都港区)。大規模な展示会とは少し異なる会場の様子を紹介。



会場の様子。夜はパーティ会場のような雰囲気に。

### 会場は元印刷工場

BAMBOO EXPOは2011年より開催。主催は、国内外のデザインやメディアに関する企画、コンサルティング、プロデュースなどを行なうバンブー・メディア。

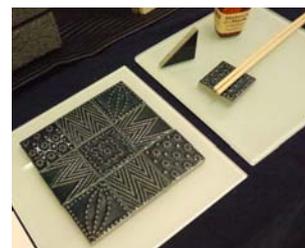
会場はゆりかもめ日の出駅から徒歩すぐの場所にある「TABLOID」。新聞社の印刷会社の工場だった建物をリノベーションし複合施設として使用。展示空間は二階建てで、中央が吹き抜けになっている。14日、15日は21:00までオープン。16:00～は無料でハイボールが振る舞われ、お酒を片手に談笑する人も。

出展したのは60企業。タイルを扱うのは、アベルコ、サンゲツ、Danto Tile、名古屋モザイク工業、平田タイル、Euclidの6企業。ほか、フローリング材、ファブリック、塗装材、照明器具、ステンレスメッシュなど、多岐にわたる建材が出展されていた。

商空間に対象をしばり、展示会としては小さな規模。隣接するブースとの間に仕切りをたてず、会場全体でまとまった空間を作り出している。出展者からは、「訪れた人とも話しやすい」という声が聞かれた。



Danto Tile。写真右は、地元淡路島の漁師の仕事着「どんざ」に施された刺し子をモチーフとしたタイル。



平田タイル。



Euclid。  
帆布にタイルを貼り付けて展示。